

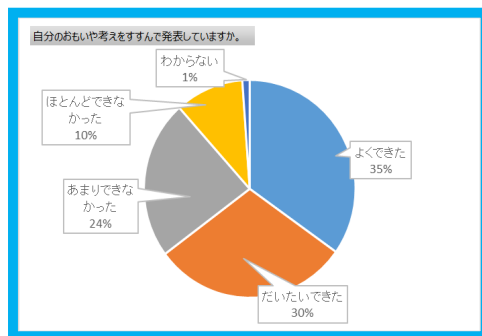
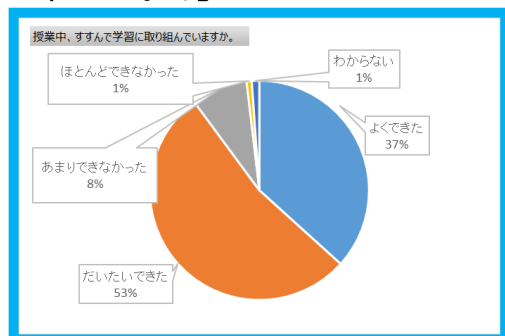


ARASHIYAMA ELEMENTARY SCHOOL
学校便り 特別号
嵐山 だより

令和 6 年 1 1 月
京都市立嵐山小学校
校長 野浪 健史

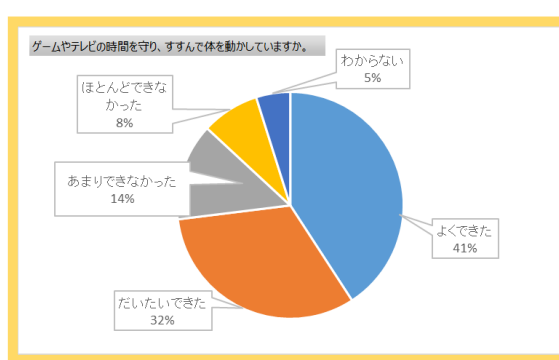
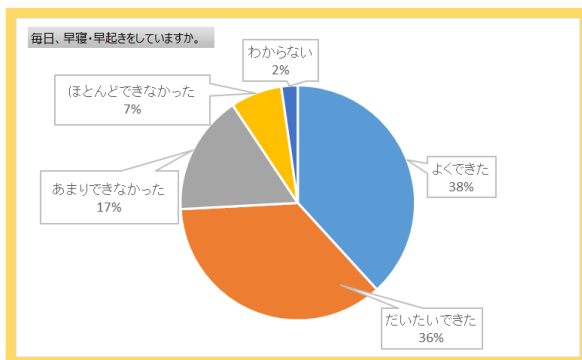
仲秋の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は本校教育推進のためにご理解・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。保護者の皆様にはお忙しい中、「令和6年度後期学校評価アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。集計結果を考察します。

「確かな学力」について



本校の学校教育目標は「学びにチャレンジ」です。自ら進んで学習における問題を見つけ、「調べてみよう。」「やってみよう。」という意欲があればどんな学びにもチャレンジすることができます。「授業中進んで学習に取り組んでいますか。」の項目では、「よくできた」「だいたいできた」が全体の9割、「自分のおもいや考えをすすんで発表していますか。」の「よくできた」「だいたいできた」が全体の6割です。こつこつとまじめにがんばることができそうですが、表現することに関しては少し躊躇するようです。

「健やかな体」について



「毎日、早寝・早起きをしていますか。」の項目では、「よくできた」「だいたいできた」と答えた児童は全体の7割でした。また「ゲームやテレビの時間を守り、すすんで体を動かしていますか。」の質問でも約7割の児童が「よくできた」「だいたいできた」と答えています。毎日、いきいきと自発的に生活するためには、規則正しい生活を送ることが大切です。「できていない」と回答した約2割の児童は、自分で「できていない」と認識していると考えられるため、自分から進んで早寝早起きをしたり、体を動かしたりして健康な毎日を送れるよう意欲的に過ごしてほしいと思います。

令和6年度 前期学校評価アンケート 結果のお知らせ

<学校教育目標>

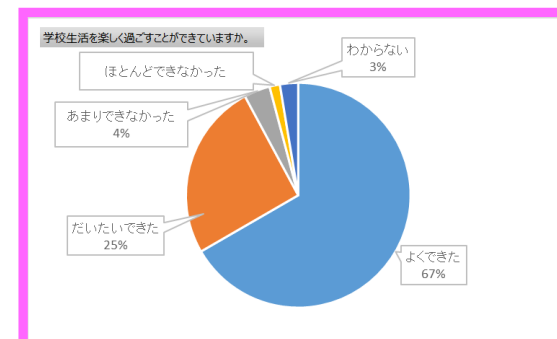
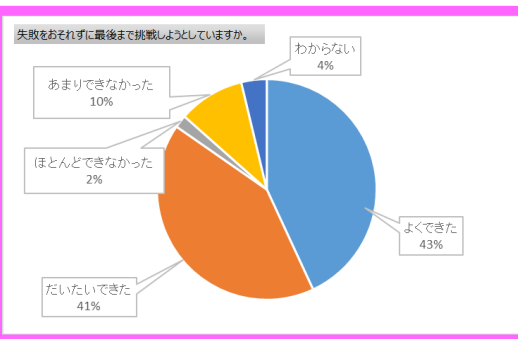
自ら関わり、ともに支えあい学びにチャレンジする子どもの育成
～友だち大好き 学校大好き 地域大好き 嵐山の子～

確かな学力

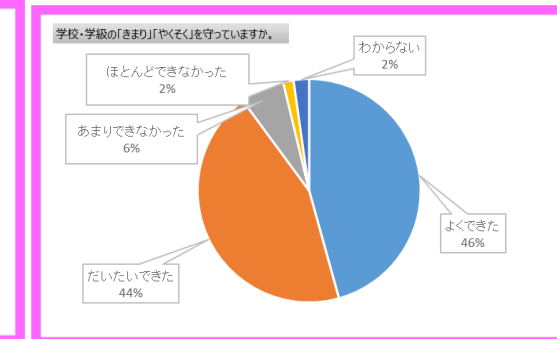
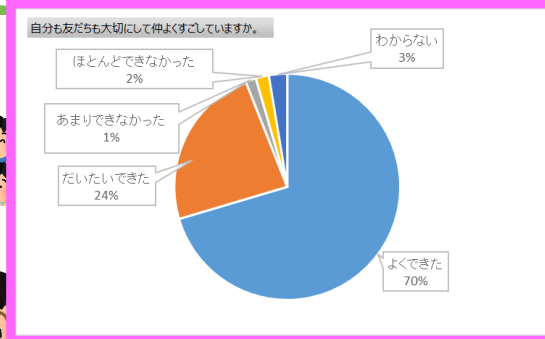
健やかな体

豊かな心

「豊かな心」について



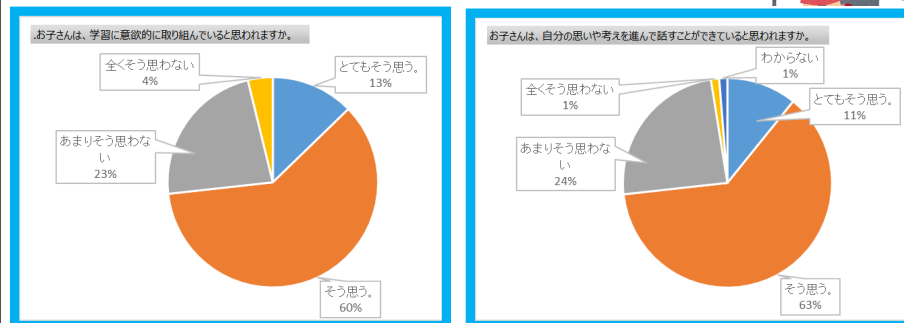
「失敗をおそれず最後まで挑戦しようとしていますか。」の項目は約8割の児童ができていますと答えました。失敗や間違いをしても、それを学びに変え、前に向かう姿やその行動こそが「心の成長」ではないかと考えます。「学校生活を楽しく過ごすことができますか。」の項目では約9割の児童が「楽しんでいる」と回答しています。学校を楽しみに思い、登校し、元気に過ごしている児童がたくさんいるというのは、とても嬉しいことです。しかし、「楽しみではない」と答えている児童も多からずいます。私たち教職員は、日々児童の様子を見守り、さらには年に2回の「にこにこアンケート」や「クラスマネジメントシート」などを用いて、個別に話を聞いたり時には指導したりして、学校にいる子どもたちがみんな健やかに学校生活を送ることができるようにしていきます。



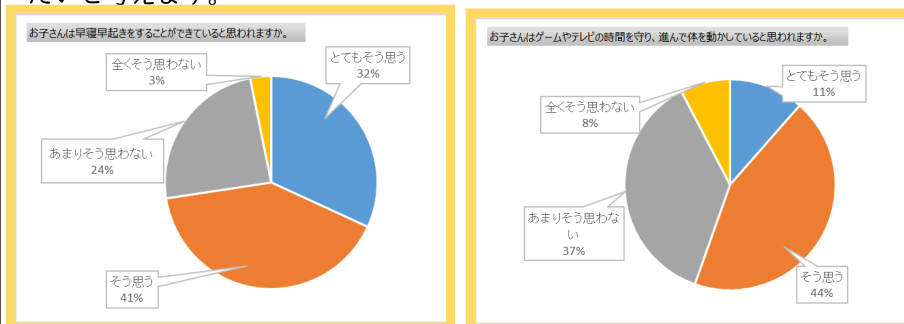
「自分も友だちも大切にしてお互いに仲よくすごしていますか。」では、9割以上の児童が「できた。」と答えています。また、「学校・学級のきまりや約束を守っていますか。」でも9割の児童が「できた。」と答えています。学校は、いろいろな友だちがいて、いろいろな考えに出会えるところです。そうした場で、子どもたちは多様な考え方を学び、心も体も大きく成長します。多様な考えが尊重されるために、みんなが守らなければいけない「きまり」や「約束」があります。一人一人が大切にされ、自分がやってみたいことがやってみたいようにできる、表現したいように表現できる学校を子どもたちと共に、私たち教職員は目指していきたいと思います。

<保護者・教職員アンケート結果>

確かな学力



子どもたちが学習に対して意欲的に取り組もうとしている様子が見られますが、保護者の方も教職員も子どもに対して厳しめにとらえる傾向が見られました。「子どもには、こうなって欲しい。」「こんな姿を見せて欲しい。」と思うのは当然のことです。子どものそばにいる大人として、子どもをより良い方へ導くために、保護者の方と教職員が同じ方向を向いて協力していきたいと考えます。



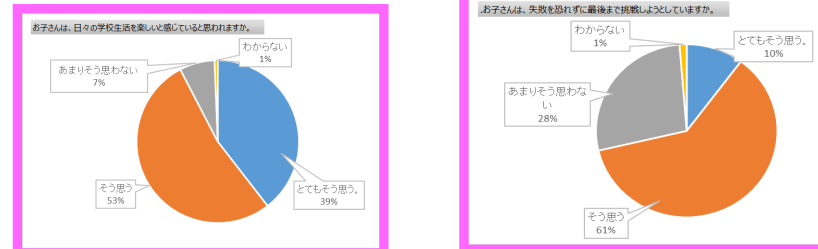
保護者への「お子さんは早寝早起きをすることができていると思われますか。」という設問では、およそ7割の方が「できている」と回答されました。子どもが早寝早起きをすることができるよう声かけをしてくださっていると思います。しかしながら、「お子さんはゲームやテレビの時間を守り、進んで体を動かしていると思われますか。」という設問で、「できている」と回答されたのはおよそ5割の方でした。ゲームやテレビへの依存度がやや高まっているのではないかと考えられます。ゲームやテレビを「やめる」というのは子どもにとって難しいかもしれませんが、時間を守って楽しむことができるように、学校では「早寝・早起き・ゲームナッシー」キャンペーンの取組をしています。お家でも取組の活用・実践をお願いしたいと思います。

健やかな体

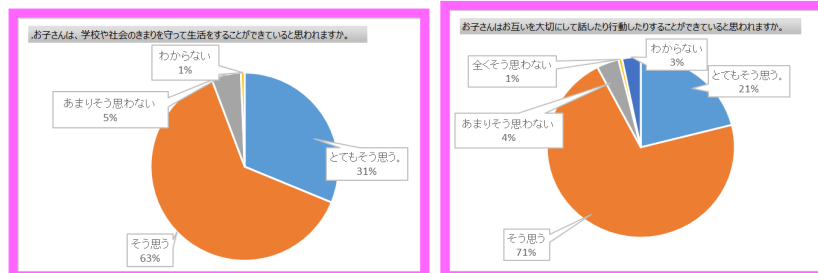


児童が学校で回答している児童アンケートの項目は、保護者の方へのアンケート内容と同内容で実施しています。「こんな子どもになってほしい。」と彼らのそばで成長を見つめる大人として、保護者の皆さんの思いを感じることができました。子どもたちがこれから成長し自立した人になるためにも、普段から自分のことは自分でしたり、自分が良いと思ったことを進んで取り組んだりすることができるよう、学校と保護者が考えを共にし、子どもたちを支えていくことが大切だと考えます。学校は、仲間と折り合いをつけながら、より良い付き合い方を模索し共に学ぶ場所でもあります。教職員はそのような学校ならではの学びに向かって子どもたちと共に歩んでいきたいと思っています。

豊かな心



「お子さんは、日々の学校生活を楽しく感じていると思われますか。」の質問について、約9割の保護者の方が、「そう思う。」と回答されました。子どもたちが学校を楽しみにして登校しようとするのを日々支えてくださっているのだと感じます。しかしながら、「あまりそう思わない。」と答えられた方もおられます。子どもがより良い学校生活を送れるためにも、学校と保護者の方が互いに協力し合って子どもを見守っていききたいと考えます。



「お子さんは、学校や社会のきまりや約束を守って生活をしていると思われますか。」の質問については、約9割の方が「できている。」と回答されました。学校は社会の基盤です。お互いに気持ちよく過ごすためにも、きまりや約束を守ることが大切だとお家でも話しておられるのだと思います。また、「お子さんはお互いを大切にしたり行動したりすることができていると思われますか。」との質問には約9割の方が「できている。」と回答されました。子どもたちが社会に出ても、お互いを大切にするすることで、より多面的で豊かな人生を築けるのではないかと思います。お家でも「自分を大切に。」「友だちも大切に。」「周りの人も大切に。」と話してくださっているのだと感じます。

<記述欄について>

本校においては、学年担任制を1年生から3年生の3学年で取り組んでいます。今回も昨年同様『学年担任制』についてご意見を伺いました。

<皆様からのご質問・ご意見>

多数のご意見ありがとうございました。一部抜粋し掲載いたします。

○学年担任制は、児童が自分にとって話しやすい先生に質問や相談をできるところが良いと思います。

○色々な先生と関われるのは子どもにとって良いと思うし、保護者も心強いです。

○一人の児童を色々な先生が見ることで伝達や共通理解をすることは大変だと思いますがそれぞれ関わり方が違ったりすることで色々な刺激があっていいなと思いました。トラブルが起こった時も直ぐに連絡を取り合っていたいただきしっかりと報連相がされていることも実感しました。

○複数の視点で子どもを見守ってもらえる、1対1の相性に捉われないというのは良いところかと思います。一方で、決まった窓口がないことによる頼りづらさや、一貫したサポートが必要な場面での不安感が否めないところもあるのかなと感じます。そのなかでも、お忙しいなか情報を共有して対応してくださり、感謝しています。

○学年担任制度は、メリットもデメリットも多々あると思っています。ただ、主に、保護者から、連絡帳などでお伝えしたい場合、どちらの先生に伝わっているのか、などわからないことがあるので、ある程度、クラスごとにホームルームや連絡事項の担当をしてもらえると助かります。

<アンケートを通して>